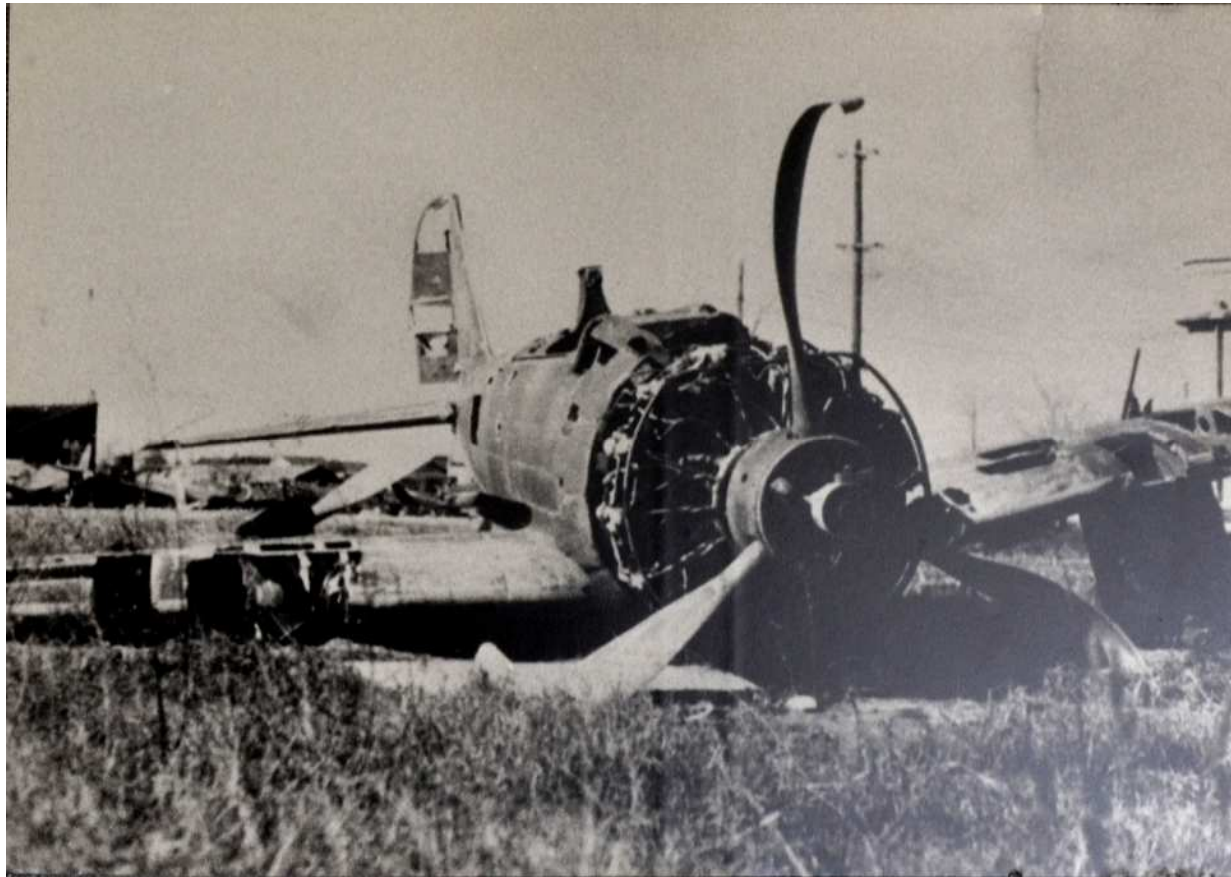


せんじか にしのみや 「戦時下の西宮」



せん ざんがい げんざい えだがわちょうふきん
ゼロ戦の残骸 (現在の枝川町付近)

にしのみやし しゅうせんまぎわ しょうわ ねん
西宮市は終戦間際の昭和20年 (1945
ねん がつ がつ かい ぐうしゅう
年)5月から8月にかけて5回の空襲を
う しがいち たいはん しょうど か おお
受け、市街地の大半が焦土と化し、多く
しみん ぎせい
の市民が犠牲となりました。

ひさん せんそう にど お
このような悲惨な戦争は二度と起こし
てはいけません。戦争の悲惨さや平和
せんそう ひさん へいわ
の尊さを学んでいただくことを目的
とうと まな もくてき
として戦争関係パネル「戦時下の
にしのみや さくせい
西宮」を作成しました。

せんそう らん
戦争にまつわるパネルをご覧ください
へいわ たいせつ いのち とうと かた つ
き、平和の大切さ・命の尊さを語り継
きかい せつ のぞ
いでいただく機会になることを切に望
みます。